

前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

主管課長職・氏名	企業振興課長 熊谷 和久
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成29年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

<p>企業集積と産学官連携について、イノベーションパークを拠点とした産学官連携や異業種連携を推進し、新たな価値が創造され、民間資金が集積する環境を構築し、企業集積を推進します。</p> <p>(1) inove (イノベ) 等への企業集積の促進と産業立地構想の策定 イノベーションパーク及び盛岡西リサーチパークへの企業誘致を促進するとともに、企業数の増加や誘致企業の成長に伴い、集積の加速化に寄与する次期企業誘致構想を策定します。</p> <p>(2) 産学官連携や異業種連携による価値の創造 イノベーションパークを拠点とした産学官連携や融合、共同研究、これらの研究成果を実践する場を提供することにより、inove (イノベ) への質の高い技術の蓄積と次代を担う人材を育てるとともに、金融機関等との連携によるファンド創成などの模索を進める必要があります。また、ICTを活用した付加価値の高い地域資源やサービスの提供により、企業の成長や起業を支援し、若者の雇用機会を創出します。</p> <p>(3) ICTを活用した地域情報化の推進 より迅速で、より正確な情報の伝達を図るため、ICTを活用した地域情報化の推進と、住民自治の確立のためのコミュニティ形成や防災時の情報の収集、伝達のため大学や企業等と連携のもと地域情報化方針等を検討するとともに、その構築を図ります。併せて、ICTの活用を促進するため、情報リテラシー向上のための人材育成を推進します。</p>
--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮ら し 単 位 % IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数	18	20	21	23	25	26	C	
			20	19	16	-	-	△25.0	
2	幸 福 単 位 % 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合	39.5	40.5	42.5	43.5	45	46	D	
			40.4	40.4	36.3	-	-	△49.2	
	単 位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施 策 名 施 策 目 標 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮ら し 単 位 % 03020100 inove(イノベ)等への企業集積の促進と産業立地構想の策定 IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数	18	20	21	23	25	26	C	
			20	19	16	-	-	△25.0	
2	幸 福 単 位 % 03020100 inove(イノベ)等への企業集積の促進と産業立地構想の策定 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合	39.5	40.5	42.5	43.5	45	46	D	
			40.4	40.4	36.3	-	-	△49.2	
3	暮ら し 単 位 回 03020200 産学官連携や異業種連携による価値の創造 セミナー、フォーラム等の交流事業の回数	0	12	25	35	54	70	A	
			20	44	77	-	-	110.0	
4	幸 福 単 位 % 03020200 産学官連携や異業種連携による価値の創造 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合	39.5	40.5	42	43.5	45	46	D	
			40.4	40.4	36.3	-	-	△49.2	
5	暮ら し 単 位 % 03020300 ICTを活用した地域情報化の推進 普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合	40.5	42.5	45	47.5	50	52.5	A	
			44	41.5	49.2	-	-	72.5	

前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

主管課長職・氏名	企業振興課長 熊谷 和久
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての平成29年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>滝沢市IPUイノベーションパークを拠点とした産学官連携や異業種連携を推進し、企業が成長しやすい環境と人材の育成を支援することについては、イノベーションパークへの企業立地が実現し、イノベーションセンターからパークへというモデルケースが生まれました。また、岩手県立大学と企業とのマッチングに向けた支援を引き続き進めると共に、盛岡西リサーチパーク及び滝沢市IPUイノベーションパークに立地又は入居する企業間の交流による働きやすい環境づくりへも取り組まれました。</p> <p>新たな価値が創造され、民間資金が集積する環境構築に向けては、引き続き企業訪問を重ね、情報収集を進めるものとしま</p>	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ inove等への企業集積をさらに加速するための誘致の推進と、人材育成、産学官等連携推進等の場の提供並びに、地域情報化の方針の検討 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 滝沢市IPUイノベーションパーク内への企業立地が初めて図られました。また、各種セミナー、フォーラムを開催するとともに、岩手県立大学の授業への協力など将来の人材育成に向けた取組も行いました。 	

3. 基本施策の実現に向けての平成29年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>IT技術の進化は、インターネットとモノをつなぐIoTや人工知能へと研究分野又は商品開発分野が移行しており、様々な分野と情報通信との融合、新しい価値の創造が求められる時代へと変化しています。そのため、様々な分野をつなげ、目的に向かって解決策をデザインできるデザイン思考の情報処理技術者が求められる時代にも変化しています。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>企業集積と産学官連携の推進は、政策である「次代を担う若者が育ち、新たな価値創造に挑戦するまちを目指します」そのものであり、引き続き資源である「滝沢市IPUイノベーションパーク」を中心に企業の集積と産学官連携を図る必要があります。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成31年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>既存資源である滝沢市IPUイノベーションパークへの企業集積と産学官連携を引き続き図ると共に、既存企業へのアプローチについて、市の産業振興の見地から大局的に検討する必要があります。また、人材育成についても、ICTを中心として、ライフステージごとの課題、目的を明らかにしながら、市民と企業・大学が連携できるセミナーなどを分かり易くまとめて、公表する必要があります。</p> <p>【引き継ぎ事項】</p> <p>企業集積に関する取組の目的と手段について、分かり易く市民へ伝えることにより、ICT産業の拠点化への興味関心を図り、盛岡広域都市圏における研究学園都市の位置づけの定着を進めること。</p>	

